

事務事業チェックシート

事務事業No 301 事業名 児童館管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	児童福祉法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	子育て支援課	露野 恵司 435-1329
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	児童福祉費		
	目	児童館費		
	大事業	児童館運営事業		
事項	児童館管理運営事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	児童に健全な遊びを与え、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に児童館を運営する。	児童の健康増進及び健全な遊びの場を提供するために管理運営を行っている。平井児童館、杭の瀬児童館、芦原児童館、善明寺児童館、鳴神児童館、岩橋児童館、木ノ本児童館、本渡児童館の計8箇所。午前8時30分から午後5時15分まで運営しており18歳未満のすべての子どもを対象としている。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		児童館管理運営	児童館管理運営 杭の瀬児童館等複合施設基本設計業務委託	児童館管理運営 杭の瀬児童館等複合施設実施設計業務委託 平井複合施設基本設計業務委託	児童館管理運営 杭の瀬児童館等複合施設実施設計業務委託 平井複合施設実施設計業務委託 鳴神児童館2階遊戯室空調工事	児童館管理運営 杭の瀬児童館等複合施設新築工事

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	21,272	20,073	31,420	19,352	35,086	28,823	45,372			
伸び率 (%)	-	-	47.7%	▲3.6%	11.7%	48.9%	29.3%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費										
正規職員	13,608	13,010	13,010	12,567	12,567	14,366	43,346			
正規職員以外	15,050	12,399	12,399	11,670	11,670	15,775	27,484			
小計	28,658	25,409	25,409	24,237	24,237	30,141	70,830			
国庫支出金							4,467			
県支出金										
市債							17,600			
その他	163	162	162	18	18	18	18			
一般財源 (税等)	21,109	19,911	31,258	19,334	35,068	28,805	40,905			
所要人数 (人)										
正規職員	1.79	1.75	1.75	1.65	1.65	1.81	5.45			
正規職員以外	7.14	6.31	6.31	5.33	5.33	7.17	12			
主な予算内訳	需用費 11,848千円		請負費 13,403千円		委託料 13,114千円					

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 運営箇所数		目標値	8	8	8	8	8
		実績値	8	8	8		
		達成度 (%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 利用児童数	人	目標値	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績値	71,275	61,661	63,651		
		達成度 (%)	89.1%	77.1%	79.6%		
成果指標 利用件数	件	目標値	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
		実績値	8,978	8,312	7,469		
		達成度 (%)	105.6%	97.8%	87.9%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	情操教育の拠点として重要な役割を果たす児童館は、子どもにとって極めて必要な施設と考えられる。
見直し・改善内容	簡易な修繕については、業者に依頼せず当課職員において修理を行い、修繕料の削減に努めている。